

当社にとってのCSRは、お客様をはじめ、社会から何を求められているのかを常に考え、「ありがとうの心」と「武士の精神」に基づく経営理念を実践していくことです。

当社の基本精神とCSRの考え方

社会の「安全・安心」を守る

当社は、1965年7月に会社を創立して以来、「ありがとうの心」と「武士の精神」という2つの基本精神を掲げ、警備業に邁進してきました。

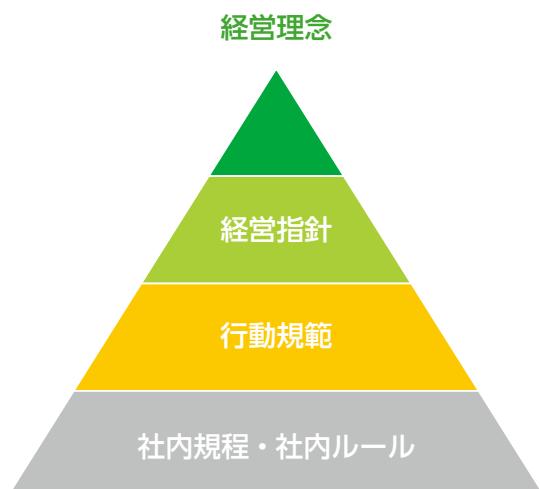
この2つの基本精神には、社会の「安全・安心」を守るという強い使命感が込められています。当社にとってのCSRは、お客様や社会が抱える課題を事業を通じて解決していく、この基本精神を不斷に全うしていくことだと考えています。

CSR理念体系

「経営理念」を軸に各活動を明確化

当社では、「経営理念」を軸に、「経営指針」「行動規範」「社内規程・社内ルール」を制定し、当社として取り組むべき活動をCSR理念体系として明確にしています。

「経営指針」は、ステークホルダーに対する取り組み指針を謳い、「行動規範」では、役員・社員の日常の事業活動のなかでの行動を定めています。さらに、課題ごとに「社内規程・社内ルール」を定め、CSR活動を各業務に落とし込んだ活動を推進しています（P.15参照）。



CSRの推進体制の強化

CSR推進室を中心としたCSR活動の推進

当社では、2011年4月からCSR推進室を設置しています。同室は、当社のCSR活動の一元的な管理やステークホルダーに対する情報発信、グループ全般のCSR活動の窓口機能を担っています。

2015年3月期からは、ALSOKグループの事業とCSR活動の関連性を、より統合的に、かつわかりやすくお伝えするために、財務情報と非財務情報を一冊にまとめた「ALSOKレポート」を発行し、Webサイトでは、企業としての説明責任を果たすため、CSRに関する情報開示のいっそうの充実を図っています。今後も、ALSOKレポートとWebサイトの企画編集をはじめ、ISO26000に沿ったCSR活動を進めながら、当社のCSR推進の強化を図っていきます。

CSR浸透に向けた取り組み

CSRに関する社内講義を実施

当社では、CSR推進室が中心となり、社内向け季刊誌「ALSOK CSR通信」や「CSR活動の手引き」の配布など、CSRの全社浸透に向けたさまざまな取り組みを行っています。

管理職などへの昇任研修でも、CSRレポートを活用した講義を毎年実施し、2015年3月期は、約500名の社員が受講しました。この結果、当社が毎年実施している社員アンケートにおいて、CSRの理解度が年々向上していることが確認されています。今後も専門部署であるCSR推進室を中心に、グループ会社を含む全社員を対象としたCSRの啓発を推進していきます。



CSRレポート2014を活用した管理職昇任研修